《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 2905

科目概要記入欄

1. 開設大学名	島根県立大学		科目開講 キャンパス	浜田キャンパス		
2. 科目名	正式科目名	地域総合計画論			クラス名	
	副題				配当年次	3, 4
	旧科目名					
	学問分野	番号	27	名称	社会科学系/その他	
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群	
3. 担当教員名	恩田 守雄					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	春（集中）		
6. 開講期間 曜日・時間	2020年9月1日（火）～2020年9月5日（土）集中講義 火～土曜日 9:00～18:00					
個別開講日	1回目 9/ 1	2回目 9/ 2	3回目 9/ 3	4回目 9 / 4	5回目 9/ 5	6回目 /
	7回目 /	8回目 /	9回目 /	10回目 /	11回目 /	12回目 /
	13回目 /	14回目 /	15回目 /	16回目 /	試験日	/
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 () ②. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	5人 (人)		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考		

10. 科目内容・授業計画	<p>【科目内容】 本講義は地方自治体で策定される総合計画を理解し、その望ましいあり方について考えることを目的とする。総合計画は基本構想、基本計画、実施計画の三層構造をもつが、広域的自治体の県と基礎的自治体の市町村では性格が異なる。近年住民参加型の計画が多くなり、市民と行政の協働が重視されるようになった。市民がどのように参加できるのか、自ら市民の側に立ち計画策定に関わった体験から、その現状と課題について講義する。計画の総論に対する各論では、地域づくりの視点からテーマ別に内容を検討する。具体的な事例を通して問題の発見、分析、解決策の提示というステップを踏みながら授業を進める。現在少子高齢化が進み「地方創生」が喫緊の課題となっている。学生諸君は本講義を通して出身地の活性化について考えてもらいたい。</p> <p>【到達目標】 1. 地域総合計画の三層構造について理解し説明できる。 2. 市民と行政の協働（計画、実施、評価の各レベル）について理解し説明できる。 3. 地域づくりの理念と手法について理解し説明できる。</p> <p>【授業計画】 第1回 イン트로ダクション—社会科学（社会学）入門 第2回 地域総合計画とは何か—基本構想、基本計画、実施計画の三層構造 第3回 県の総合計画と市町村の総合計画 第4回 住民参加型の計画—市民と行政の協働による計画策定 第5回 計画の実施と評価 第6回 地域づくりとしての総合計画と分野（テーマ）別計画 第7回 総合計画の各論Ⅰ—都市基盤・生活基盤分野の地域づくり 第8回 総合計画の各論Ⅱ—産業・経済分野の地域づくり 第9回 総合計画の各論Ⅲ—環境・健康・福祉分野の地域づくり 第10回 総合計画の各論Ⅳ—交流・コミュニティ分野の地域づくり 第11回 総合計画の各論Ⅴ—教育・文化分野の地域づくり 第12回 ケーススタディⅠ—島根県と埼玉県 第13回 ケーススタディⅡ—政令指定都市（さいたま市、広島市、福岡市） 第14回 ケーススタディⅢ—松江市と浜田市 第15回 エピローグ—まとめ</p> <p>【テキスト】 ・恩田守雄『グローバル時代の地域づくり』（2010年、学文社）。 ・恩田守雄『共助の地域づくり—「公共社会学」の視点—』（2014年、学文社）。</p> <p>【参考文献】 ・恩田守雄『医学生のための社会学入門』（2016年、晃洋書房）。 ・恩田守雄『支え合いの社会システム』（2019年、ミネルヴァ書房） ・恩田守雄『開発社会学』（2006年、ミネルヴァ書房）。</p>		
11. 試験・評価方法	・試験 60% ・小レポート（コメントシート）20%、・平常点（出席、授業態度）20%		
12. 別途負担費用			
13. その他特記事項	広く社会学的な知見に基づく地域づくりについての授業をします。科目等履修生、聴講生、単位互換学生も歓迎します。なお教員（非常勤講師）のプロフィールは次のホームページ参照。 http://www.rku.ac.jp/faculty/professor/43		
14. サテライト科目の社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否